

令和5年度 学校関係者・自己評価

県立清武せいりゅう支援学校

◇ 学校の取組について、総合的に自己評価した結果です。

(A：良い B：概ねできている C：努力が必要 D：改善すべきである)

1 学校運営 学部、校務関連	評価
<p>① 学校経営方針や教育目標・努力事項を踏まえた取組ができているか。</p> <p>② 学部経営の目標や努力事項を踏まえた実践に努めているか。</p> <p>③ 校務分掌部等の目標や努力事項を踏まえた実践に努めているか。</p> <p>④ 諸会議が検討、確認、共通理解の場となるよう努めたか（職員会、運営委員会、学部会、校務部会など）。</p> <p>⑤ 児童生徒の障がいの状態や発達段階等の共通理解を図って、職員間の連携を密にして組織的・協力的に取り組んだか。</p> <p>⑥ 災害や緊急時に対応する危機管理体制を整えているか。</p> <p>⑦ 学部の児童生徒の実態に応じた計画的で適切な学習活動やグループ学習、行事等を学校全体で取り組んでいるか。</p>	<p>【関係者評価】 B</p> <p>【自己評価】 B</p>
<p>(実際の取組と成果・課題)</p> <p>○職員アンケートでは、学校経営、学部校務部関連については約8割がA、B評価をしている。しかし、会議のあり方、危機管理に課題を挙げている。</p> <p>○働き方改革で、会議の精選に取り組んでいる。また、オンラインによる会議等でペーパーレスを進めている。</p> <p>●保護者から、先生が元気がないと評価されている。</p> <p>●防災対策は、実際の災害の情報を収集し検討が必要。</p> <p>●小中高連携については、教育課程の理解を深める必要がある。また年間計画、指導計画を活用し、学習の積み上げを組織的に行って生井必要がある。</p> <p>●各職員の働き方改革が進むように業務を整理したり、一部に業務の負担が偏らないように学級担任と校務分掌部の配置を工夫したりすることが課題である。</p> <p>●働き方改革では、勤務時間内に業務を終わらせることは不可能という意見がある。</p> <p>●感染症対策については、継続して緊張感を持ちながら対応していく必要がある。5類移行（インフルエンザと同じ）となってからの連絡等整理が不十分であった。</p> <p>※関係者から</p> <p>●対策、備蓄品、避難方法などリアルな対策を検討してほしい。また、それらを情報共有するよう要望する。</p> <p>●関係機関との連携をもち非常時の救援など検討が必要。</p> <p>●保護者間の連携が持ちにくくなっている。</p> <p>○感染症対策についてはオンラインでの実施など教職員の工夫が見られた。</p>	
2 教育活動や指導・支援	評価
<p>① 学級の児童生徒の実態に応じた計画的できめの細かい学習指導が実施できているか。</p> <p>② 保護者と情報交換や共通理解を図って、連携・協力を努めたか。</p> <p>③ 児童生徒の実態に基づいて個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成、共有し、指導に活かしているか。</p> <p>④ 児童生徒の人権を尊重した教育活動に努めているか。</p> <p>⑤ 児童生徒の実態に応じた授業の計画や実践、教材・教具の工夫ができたか。</p> <p>⑥ 児童生徒の実態に応じて将来を見通した生活面の指導・支援を行っているか。</p> <p>⑦ 自立活動は、実態把握を基に、個に応じた適切な指導がなされているか。</p> <p>⑧ 児童生徒の自己理解・職業理解を図るための小・中・高一貫したキャリア教育に取り組んで</p>	<p>【関係者評価】 A</p> <p>【自己評価】 B</p>

<p>いるか。</p> <p>⑨ 児童生徒の進路について、保護者や関係機関との連携をとっているか。</p> <p>⑩ 進路に関する情報収集や提供を行っているか</p> <hr/> <p>(実際の取組と成果・課題)</p> <p>○各学部主事が、教育課程ごとに編成している検討会を活用し、効果的・効率的な学部運営に努めた。</p> <p>○職員アンケートの2では約8割がA、Bの評価である。</p> <p>○各学部で新型コロナウイルス感染症への対策をしながら学習内容やグループ学習、行事等を精選したことにより、学級を越えた友達同士の関わりも見られるようになった。</p> <p>○各学部の会議においては、各学級の児童生徒の健康状態や学習状況などについて情報を共有し、指導方法について話し合うことにより、各教科等の指導に活かすようにした。</p> <p>●I課程の進路については組織的対応が必要。キャリア教育を系統的に行っていくことを検討。</p> <p>●各学部でグループ学習や行事等を適切に実施するなどして、指導を継続していく事が重要である。</p>	
<p>3 保健・安全</p>	<p>評価</p>
<p>① 児童生徒の健康状況について、保護者やこども療育センター及び保健室との連携を図り、健康管理や状態維持に務めたか</p> <p>② 清潔面、衛生面及び安全面に配慮して日々の指導を行うことができたか。</p> <p>③ 食事や水分補給、トイレ支援等は、安全にできたか。</p> <p>④ 医療的ケアは看護師と連携して安全安心に実施されているか。</p> <p>⑤ ヒヤリハット事例について全職員で情報を共有し、再発防止や重大事故の予防に活かしているか。</p> <p>⑥ 施設・設備や教材・教具等の安全点検や安全な活用がなされているか。</p> <p>⑦ 学校危機管理マニュアルの整備・充実と活用を図り、緊急時や危機管理に備えているか。</p> <p>⑧ 安全面を十分考慮して、学習及び行事の実践がなされているか。</p> <hr/> <p>(実際の取組と成果・課題)</p> <p>○職員の評価は8割以上がB以上の評価であった。</p> <p>●感染症対策においては、新型コロナウイルス感染症の5類移行をうけて活動状況、内容の変更はあったが、マスクや換気等、対策を心がけて実施している。インフルエンザ、新型コロナウイルスと同じ5類となったが、連絡体制、方法を整理する必要がある。</p> <p>●安全に学習活動を行うために、職員の安全に対する意識の向上を常に行っていく必要がある。</p> <p>●何かあった際にはヒヤリハットを提出することを徹底する。また必ず全体で共有する。</p> <p>●S B緊急対応訓練、避難訓練等、学校、福祉ゾーンで行っている。S B訓練については、保護者との連携について保護者からも課題を指摘されている。改善を行う。</p> <p>●本校が避難所となったときの役割分担、シュミレートを行う必要がある。非常食などを学習活動の中で使用することも次年度検討する。</p> <p>※関係者から</p> <p>●ヒヤリハットは報告しやすい雰囲気を醸成し、繰り返さない工夫、対策を図ることが必要。</p>	<p>【関係者評価】</p> <p>C</p> <p>【自己評価】</p> <p>B</p>
<p>4 職員研修</p>	<p>評価</p>
<p>① 児童生徒の実態を踏まえた効果的な指導法等の研究や改善に努めたか。</p> <p>② 校内研究において、研究主題に沿ったグループ研究を深化させているか。</p> <p>③ 専門性向上研修等の各種研修を指導や授業実践に活かすことができたか。</p> <p>④ 児童生徒の実態に即したICT機器や情報機器を活用した指導に取り組んでいるか。</p> <p>⑤ 様々な校内研修が、自らの専門性を高めるための研修になっていたか。</p> <hr/> <p>(実際の取組と成果・課題)</p> <p>○今年度は昨年度に続き「ICTを活用した授業に関する研究」を行い、1月16日にオンラインで公開を実施した。県内の小・中学校、特別支援学校から29名の参加があった。</p> <p>●肢体不自由だけではなく、他の障がい種についても研修を行う必要がある。</p> <p>●子供の心身のケアについて研修が必要。</p>	<p>【関係者評価】</p> <p>B</p> <p>【自己評価】</p> <p>B</p>

<p>※関係者から</p> <p>○専門性の向上だけでなく、ふれあい方、言葉遣い、心のケアの研修も積んでほしい。</p>	
<p>5 交流・共同学習</p>	<p>評価</p>
<p>① 学校間交流は、相手校との共通理解の下、効果的に実施できているか。</p> <p>② 居住地校交流は、保護者及び相手校との共通理解の下、効果的に実施できているか。</p> <hr/> <p>(実際の取組と成果・課題)</p> <p>○職員の評価では、6割がB以上の評価をしている。</p> <p>○交流の活動内容など、小・中・高それぞれに相手校の工夫により充実した活動ができている。</p> <p>○「心のバリアフリー交流」は今年度で事業として終了するため、次年度以降実施するためには予算の検討が必要になる。</p> <p>○居住地校交流は、継続することで居住地校の理解も進み、地域で声をかけてもらうことも増えてきている。しかし、居住地校交流の希望者が小・中学部ともに一桁で少ないため啓発が必要。</p> <p>●学校間交流においては、予算上の問題もあり相手校が来校することが難しい。次年度以降に向けて相手校の遠足を活用し、午前中來校していただき交流を行うことや、相手校の遠足場所に行き交流を行うなどの方法を検討している。</p> <p>※関係者から</p> <p>○小さいときからの触れあいも重要である。多くの交流を行ってほしい。交流を行うことで、災害時の助け合いにも繋がる。</p>	<p>【関係者評価】</p> <p>C</p> <p>【自己評価】</p> <p>B</p>
<p>6 関係機関との連携</p>	<p>評価</p>
<p>① こども療育センターと連携した指導・支援に努めたか。</p> <p>② 学校ホームページの更新や活用に努めたか。</p> <p>③ 関係機関（教育、福祉、医療、行政等）との連携はとれているか。</p> <hr/> <p>(実際の取組と成果・課題)</p> <p>○職員は7割がB以上の評価を行っているが、ホームページの活用は不十分との評価も多い。</p> <p>●保護者から学習活動でのICT活用状況等情報発信が少ないため、何を行っているのか分からない。関係機関との連携についても同じ意見をいただいた。</p> <p>●ホームページだけでなく情報発信ツールの活用を検討していく。</p> <p>※関係者から</p> <p>●ホームページの目的をはっきりしてほしい。</p> <p>●行事等での登下校の時間がわからないときがあるのでホームページに記載するなどしてはどうか。</p> <p>●福祉との連携を深めてほしい。夏休みの様子など情報共有するようしてはどうか。</p>	<p>【関係者評価】</p> <p>B</p> <p>【自己評価】</p> <p>B</p>